

周辺の空白地域に対応した 日本語教育の展開

NPO法人 芸術文化振興市民ネット新庄

理事 鶴沢 忍

NPO法人 芸術文化振興市民ネット新庄とは...

山形県新庄市

生涯学習センター「新庄市民プラザ」と
文化施設「新庄市民文化会館」を指定管理

＜主な活動内容＞

施設の管理・運営業務のほか、日本語教室をはじめとする
生涯学習講座や各種イベントを企画・運営

山形県新庄市

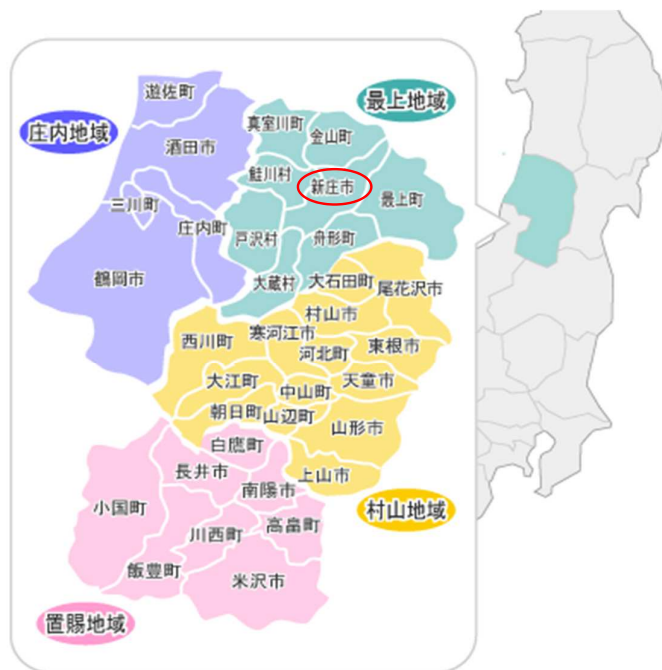
山形県北部にある最上地域（8市町村）の中心部。

人口は約33,000人

最上地域の中でも、行政機関や学校、病院や企業が集まっており、近隣町村から通勤・通学している方が多い。

交通機関も県内外の主要都市とを結ぶ分岐点にもなっている。

四季がはっきりしており、とくに冬は積雪が多く、交通機関が麻痺することもある。

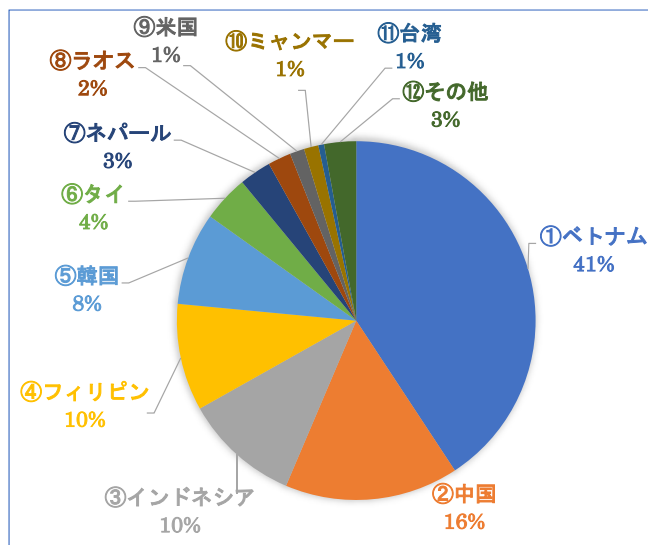


※山形県ホームページより

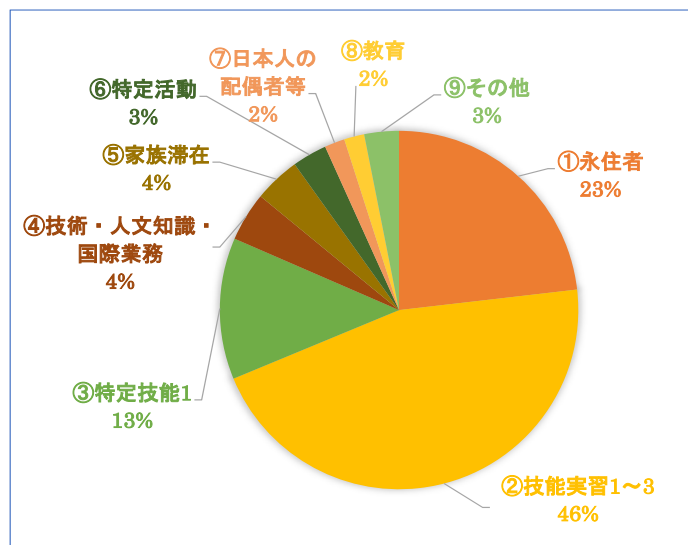
新庄市における在住外国人

20か国 約380人が在住

国籍別割合



在留資格別割合



取組み以前の地域の状況

- ・最上地域8市町村で公募による日本語教室は新庄市民プラザのみ。
- ・山形県でも外国人人口が年々増加し、中でも新庄市は人口に対し外国人の割合が1%を超えている
- ・企業から日本語教室に対する問い合わせが増加
- ・問合せが増えても、講師不足により現状では対応できなかった
- ・見学者から学習内容の相違で断られるケースもあった



最上地域の空白地域に日本語学習機会を提供する

- 最上地域の中核となる日本語教室をつくりたい
- 近隣地域のモデル事業としたい
- 今後さらに増加するであろう外国人に対応したい
- 地域や学習者のニーズに合った日本語教室にしたい
- 講師不足を解消したい

現在取組んでいる事業

日本語教室の運営

- ＜来日して長い人向け＞
 - 毎週木曜日夜間（年間25回）
日本人配偶者が多い
 - ＜来日して浅い人向け＞
 - 月2回日曜日午前に開催
（年間20回※冬期はオンライン教室）
外国人労働者が多い
- ※どちらも参加費は年間2,000円



外国人サポート講座の 開催

- 日本語教室での学習支援ボランティアの発掘・育成を目的に「多文化共生」や「やさしい日本語」について講座を開催
- 講座修了した方で「日本語ボランティアもがみ」を結成し、8名がボランティアとして登録。現在は日本語教室で学習支援を行っている。



オンライン教室の開催

冬期間は雪の影響により教室に通えなくなることがある
周辺地域に日本語学習の機会を提供することにつながる
⇒期間限定でオンライン教室を開催

□1～2月（月2回／計4回）

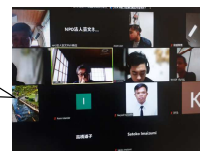
□受講生：6名／講師：1名／ボランティア：平均5名

□教材は事前（12月）に用紙を配布し、画面共有も行う

□事前にボランティアを集めてZOOM研修を実施



事前に
ボランティアの
ZOOM研修



オンライン
学習

受講生からは意外に好評

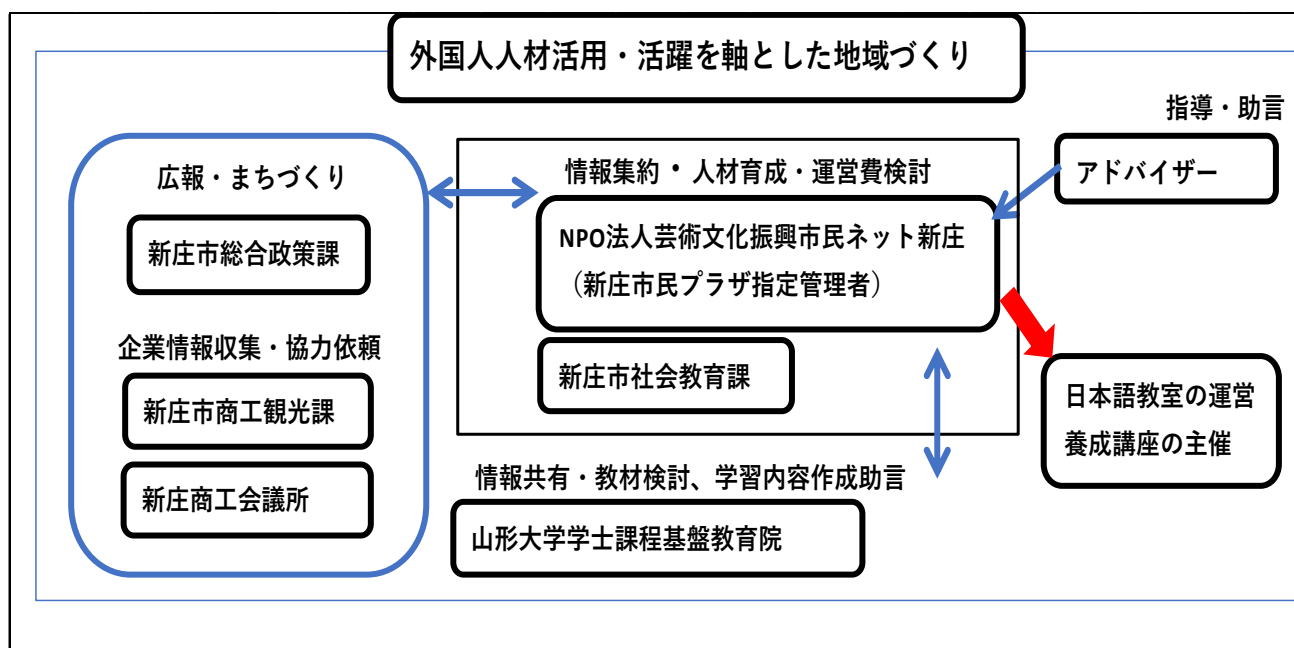
<メリット>

- ・ 天候に左右されない。
- ・ 講師も受講生も新庄市に限らず参加できる。
- ・ 交通費がかからない。

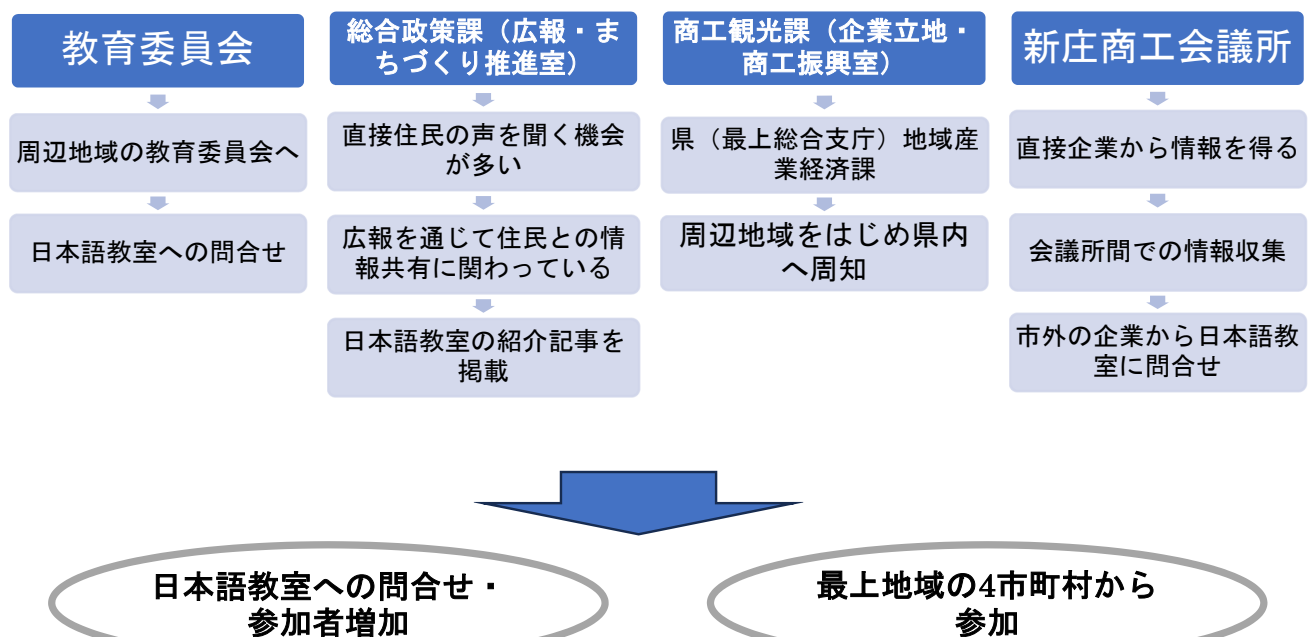
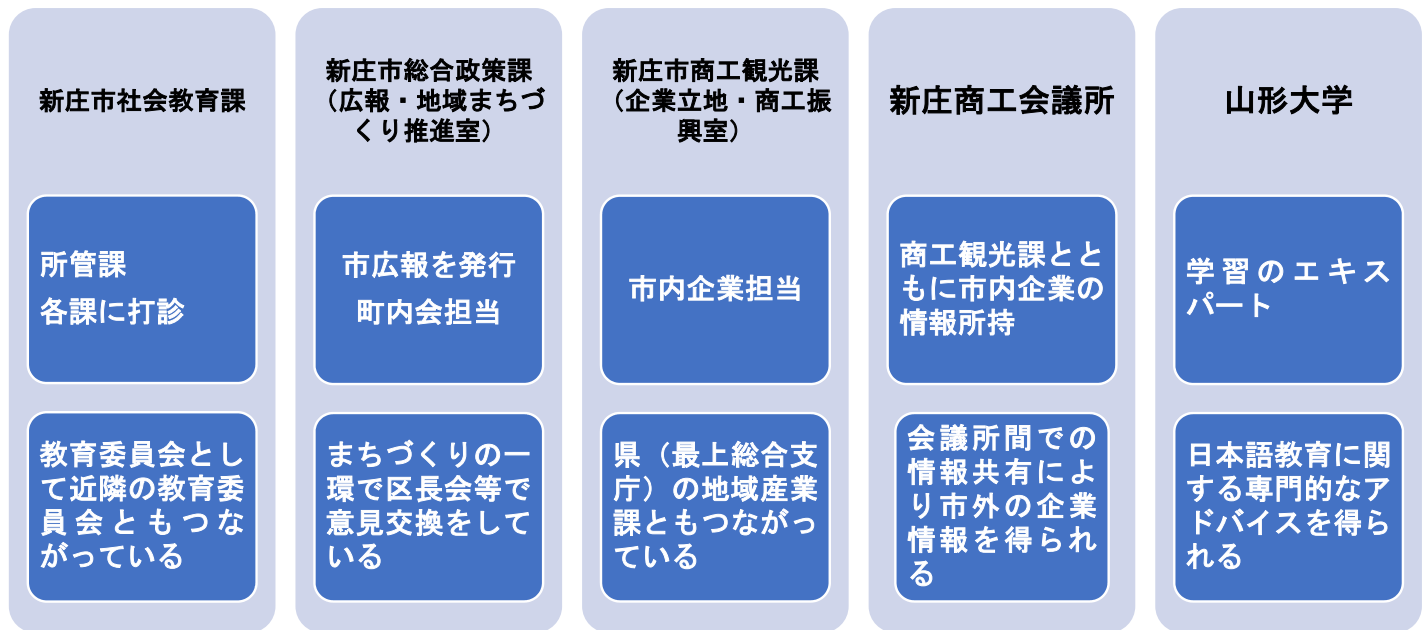
<デメリット>

- ・ 講師やボランティアのオンラインの経験不足もあり、スムーズにいかないことも。
- ・ 電波状況やタイムラグにより反応がわかりにくい。

現在の事業実施体制



依頼した関係機関



これまでの取組みの成果

住民に対する意識調査

- 日本人住民の外国人に対する意識と、在住外国人の日本語学習意欲の把握

関係機関との連携

- 新庄市における日本語教室や在住外国人に関わる情報収集と発信の拡充と共有
- 県内の他地域の在住外国人とその対応策について情報収集

地域の拠点となる日本語教室の運営

- 地域のニーズに沿った日本語教室の開催および受講生の増加
- 近隣地域からも受講

外国人サポート講座

- 日本語教室における学習支援人材の発掘
- 地域のニーズに対応できるボランティアグループの結成

今後の課題

最上地域の在住外国人
情報の把握と、広報が
行き渡る仕組みづくり

講師やボランティア
人材のさらなる確保

日本語教室の継続

近隣町村における日本
語教育の普及と教室の
実施

多文化共生に関する
意識づけの継続

今後の展望

- 
- 新庄市の日本語教室から近隣地域の日本語教室へ
 - 講師陣の充実
 - 多文化共生へ向けたまちづくり
 - 地域全体が絡むインバウンド事業へ後押し
 - 外国人に関する総合的な窓口開設

ご清聴ありがとうございました